

2018年6月13日

学校法人 東京女子医科大学

新規の核酸合成とデリバリー技術を用いた核酸創薬に関する
産官学共同研究開発契約を締結し、研究活動を開始

本学は、エーザイ株式会社の研究子会社である株式会社カン研究所を代表とする研究プロジェクト「新規の核酸合成とデリバリー技術を用いた核酸創薬研究」について、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（以下、AMED）の医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）に採択され、平成30年6月13日付で代表機関であるカン研究所と本学の間で産官学共同開発契約を締結し、以下の共同研究機関と産官学共同研究開発を推進します。

共同研究機関：

株式会社カン研究所
エーザイ株式会社
国立大学法人大阪大学
国立大学法人新潟大学
国立がん研究センター東病院
国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
株式会社ジーンデザイン

核酸医薬品は、遺伝情報をつかさどるデオキシリボ核酸（DNA）やリボ核酸（RNA）あるいは化学修飾された核酸を基本骨格とし、低分子医薬品と同様に化学合成で製造する医薬品です。従来の医薬品では標的とすることが難しかった細胞内分子(遺伝子)に対して高い特性をもって直接作用することが可能であり、多くの疾患領域での創薬が期待されている一方、毒性回避技術や核酸の標的細胞に対するデリバリー技術の確立が必要とされています。

本研究プロジェクトでは、エーザイを中心に開発した革新的核酸デリバリー技術に、大阪大学が開発した人工核酸合成技術、医薬基盤研究所のスクリーニング技術、ジーンデザインの保有する核酸製造技術を結集し、独自の核酸医薬創出プラットフォームの構築と、そのプラットフォームを用いた安全性と有効性に優れた核酸医薬品候補の創出をめざします。

本学はカン研究所、新潟大学及び国立がん研究センター東病院と協働して非臨床試験ならびに臨床試験を実施します。

産官学の共同による本研究プロジェクトによる日本発の核酸医薬品創出に邁進し、未だ満たされない医療ニーズの解決と患者様とご家族のベネフィット向上へ貢献してまいります。